

「持続可能な地域づくり支援団体育成事業」企画提案募集に係る質問に対する回答

該当箇所	質問内容	回 答
仕様書（1頁）	<p>人材育成の方向性について</p> <p>①「人材育成」の対象は、新規人材の発掘と既存人材のスキルアップのどちらを重視しているか</p> <p>②「インプット型（講義中心）」と「アウトプット型（対話・実践共有）」のバランスはどのように想定されているか</p>	<p>①新たにイチから人材を育成するというよりは、既に他団体の支援やコーディネーター等を担うなど、今後、中間支援組織となり得る団体や人材（潜在的な団体等）に対して、中間支援活動に必要なスキル等を習得する機会を提供し、中間支援組織として育成していくことを想定しています。</p> <p>ただ、中間支援組織となり得る団体や人材の掘り起こしは必要であり、そのための人材発掘や募集の工夫についてもご提案ください。</p> <p>②中間支援組織に必要な知識や技術の習得、受講後の中間支援活動（実践）につながる効果的な研修となるよう、企画提案してください。</p>
仕様書（2頁）	<p>ネットワーク会議と令和6年度事業との関係性について</p> <p>①議題は昨年度の意見を踏まえた“延長”とすべきか、新たに設定して良いか</p> <p>②参加者属性（団体・行政職員等）は昨年度と同様を基本とするか、入れ替えも可能か</p> <p>③県として、昨年度事業を踏まえてどのような発展や深まりを期待しているか</p>	<p>①昨年度出された意見等も踏まえつつ、新たに設定（提案）していただいて構いません。</p> <p>②参加者属性については、議題の内容等に応じて調整可能です。中間支援組織のネットワークづくりや行政との連携に向けて、効果的なものとなるよう、企画提案してください。</p> <p>③中間支援組織のネットワークづくりや行政との連携に向けて、今後の具体的な取組につながることを期待しています。</p> <p>また、共生・協働の地域社会づくりの中核的拠点である県共生・協働センターをHUBとしたつながり・連携も期待しているところです。</p> <p>なお、今後の中間支援のあり方を考える上で、地域社会を取り巻く環境の変化を踏まえた新たな官民連携の仕組みの検討など、持続可能な共生・協働の地域社会づくりに向けた今後の方向性等についても議論がなされることで、より実効性のある取組につながるものと考えております。</p>